ほしぞらさんぽに出かけましょう

やっと例年並みに寒くなってきました。夜空がすみ切ってお星様がキラキラかがやき、あなたをほしぞらさんぽにさそっています



空が明るいうちに写真に撮りましょう。ふつうにシャッターを切れば写ります。

ふたご座流星群

12月14日の夜にふたご座流星群が極大(流星のピーク)と予報されています。月令10の月がありますから空は明るくて流星群を見るのにはじゃまになりますが、明るい流星が飛ぶことがある流星群ですので期待しましょう。

こぐま座流星群

12月23日の 0 時ごろに極大との予報です。だから22日の夜に見えるのですよ、まちがえないでね。 夜半から半月が出ていますので条件は良くありませんが、時にまとまって流れることもある流星群ですから、鑑賞できるかもね。

12月の星座

冬の星座の王さま・オリオン座は午後7時ごろに東の地平に見え始めるでしょう。その前におうし座の1等星アルデバランや散開星団すばる、そしてぎょしゃ座の1等星カペラが上っていますね。散開星団すばるは双眼鏡で見るのが最も美しいながめです。望遠鏡で見るとはみ出してしまって、あのかわいい形が見えなくなってしまうから

です。12月の第1週には天頂付近はまだ秋の星座です。ペガスス座の四辺形やアンドロメダ座とその大銀河(250万光年もの遠くにある光が双眼鏡で見えています)、北東の空にはカシオペヤ座のM字の5つの星などが見えています。

カシオペヤ座が見やすい高さ にいるので、カシオペヤ座を使っ て伊勢原の空でも北極星が見つ かるでしょう(左の図を参考

月明かりはじゃまだなあ~

12月は前半の1週間と月末の1週間がほしぞらさんぽに適しています。なぜ? あなたがほしぞらさんぽに出かける時間帯に、お月様がかくれてくれているからですよ。

9月ごろの月は南の低い空をえんりょ(?)しながら通っていくので、月の反対側の空ではあるていどは星が見えていますが、冬の月はま東よりずっと北の地平から出て、天の高いところ(天頂の近く)を通っていきますから、ほしぞらさんぽにはおおいにじゃまになります。だから月がかくれてくれる時間帯を調べておかないとほしぞらさんぽができません。

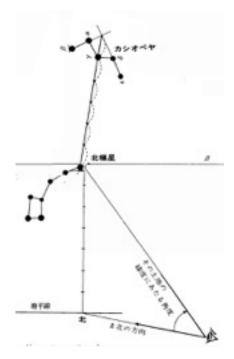
スマホのアプリで「天体観測可能時間」を調べると、その日に月がじゃまするかどうかを調べることができますよ。

12月の天体イベント 金星がキッラキラ

12月中ごろまで、夕方のまだ明る い空で肉眼でかんたんに見つかる、一 番明るい星が金星です。その金星は12 月4日、-4.7等で最大光度、つまり 最も明るくなります。

その時の金星の方角はどちらでしょうか? 金星は地球よりも太陽に近い惑星ですね。だから太陽に近い方向にいることになりますね。夕方だったら日没直後の西の空を見るのですよ。

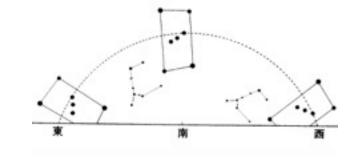
望遠鏡で見ると、まるで三日月のような形に欠けているのが分かります。



に)。

もっと西の空を見ると、なんと夏の大三角がまだ見えています。こと座のベガ、はくちょう座のデネブ、わし座のアルタイルを「夏の星だよね」と思っている人は、「? あれは何? 」って迷うことでしょうね。夏の大三角は天の北極に近いので、1年のうち7ヶ月ぐらいは宵のうちに見ることができるのです。

12月も第4週に入ると星空は少し変わりますよ。 午後7時にはもうオリオン座が東の空にその全体 を見せていることでしょう。東の空にいるオリオ



ン座は横に倒れているように見えています。これ を覚えておいて、2月中ごろのオリオン座の見え 方と比べてみましょう。

もう一つ。地平から上がったばかりのオリオン の三ツ星の位置、そこが真東になります。真東の 目印になる建物など目印を覚えておきましょう。

